

TOPに 訊く

京都銀行
取締役頭取
土井 伸宏氏

- NIKKEI BUSINESS SPECIAL INTERVIEW SERIES -



PROFILE

土井 伸宏【どいのぶひろ】
1980年入行。秘書室長、人事部長等を経て2007年に取締役就任。常務取締役を経て2015年取締役頭取就任。京都銀行協会会长、京都商工会議所副会頭、京都市観光協会副会长、京都府観光連盟副会长。2020年藍綬褒章受章。

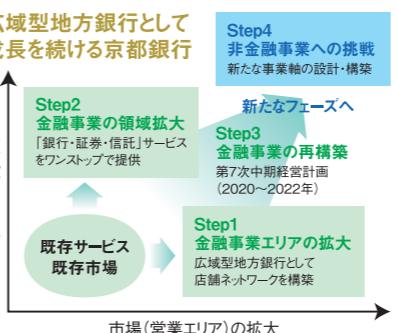
**M&Aをはじめとした
総合金融ソリューションで
地域経済の活性化に貢献**

当行は創立以来一貫して「地域社会の繁栄に奉仕する」を經營理念に掲げ、地域企業の成長・活躍に伴走してきました。お客様に伴走者として選んでいただくためには、いつの時代もお客様の期待に応えていく必要があります。そのためには、当行の強みを最大限に生かした総合金融ソリューションを提供し、地域経済の活性化に貢献していきたい。その原動力となっているのは、地域経済の一翼を担う当行での仕事に誇りややりがいを感じている役職員の思いです。2021年に創立80周年を迎えたが、当行の姿勢は、90周年、100周年といった未来を見据ても変わることはありません。

強みを生かし地域における M&A支援の主役に

2000年に滋賀県初進出となる草津支店出店以降、広域型地方銀行として成長を続けてきました。現在、近畿2府3県（京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、兵庫県）、愛知県、東京都におよぶネットワークを単独で構築。店舗削減に舵を切る金融機関もありますが、当行はお客様との接点となる拠点は不可欠だと考えています。一方、営業エリアの拡大に加えて、サービスの拡大、つまりコンサルティング機能の充実も並行して進めてきました。事業承継、証券、信託など多岐にわたる分野を強化してきましたが、なかでも、M&Aは他行や他社と一線を画す独自性を発揮しています。

M&A業務は2001年以降、20年以上の実績を有しています。地域金融機関の多くが専門会社につなぎ、あとはお任せ、であるのに対し、当行は自行単独でお客様に寄り添い、クロージングまで一貫して対応。事業承継のほか、商圏拡大、新事業への進出、ノンコア部門の切り離しなど事業戦略の大きな転機に応えてきました。当行のM&A支援実績のうち約7割は、いずれかの当事者が京都以外の地域。こうした都府県をまたいだM&Aやビジネスマッチングができるのは、広域型地方銀行だからこそ強みです。



地域におけるM&A支援の主役になれなければ、地域金融機関としての存在意義を問われかねず、この分野では常に地域のナンバー1でありたいと思っています。

戦略的に人的 投資を重ね、 着実に実績を積み上げる

成長戦略型、クロスボーダー型など多様なM&Aの実績があり、M&Aアドバイザーとしての質についても、専門会社から一目置かれていると自負しています。専担者1名から始め、戦略的に人員を配置・育成してきた結果、現在は総勢15名に。メルクマールとしてきた年間5億円規模の収益体制は2016年に到達しました。また、お客様の本業支援のため2年前に立ち上げたコロナサポートチームが対応を進めた顧客課題においても、事業承継・再構築に関する内容がとても多い。全国的にも休廃業が少なくない状況を踏まえれば、当行がM&A支援を通じてできることはまだまだあります。関西でM&Aといえば真っ先に「京都銀行」の名前があがるくらいに質・量ともに充実してきましたが、現状に満足せず、10億、20億円規模の収益体制を築いていきたいと考えています。

その上で重要なのは、本部と営業店の両輪をより強固にすること。多様化・高度化するニーズにお応えするのは本部の役割ですが、ニーズに気づくのはお客様と接点を持っている営業店

京都銀行のM&A支援実績

京都銀行が関与したM&Aの当事者の本店所在地を示したもの（2016年4月以降2022年3月末時点までを集計）。

■ 50件以上 京都府
■ 25件以上 大阪府
■ 15件以上 東京都



の行員です。感度を高め、質の高いソリューションを提供することでコンサルティング営業を充実させていきたい。日頃からのお客様との接点を生かした、専門会社にはない長期目線での対話・助言は当行の強みであり、「ながーい、おつきあい。」は私たちの営業スタイルをシンプルに表しています。そのためにも経営として考えるべきは、人材に対してしっかりと投資を継続することだと思います。

地域社会の持続的発展のため スタートアップ支援にも注力

京都で生まれ、今も京都に拠点を置く、独創的でユニークなグローバル企業は、自社の成長とともに地域経済も牽引してきました。京都銀行には、そのような企業と創業当初から関わりを持ってきた歴史があります。地域で生まれた企業を次代につなげるM&Aとともに、スタートアップ企業を育て、地域経済を活性化することも重要な責務だと考えています。地域の発展に貢献することで、当行自身も成長するという持続的発展の好循環を生み出す役割を今後も担っていきたいと思います。 A

株式会社 京都銀行
〒600-8652 京都市下京区烏丸通松原上る
薬師前町 700番地
<https://www.kyotobank.co.jp/>